

八雲

第59号

(令和4年10月発行)

大東高校校歌

1. 勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんかな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし
2. 夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕づつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手をとりにていざ共に哭け
3. 理想の洋は遥かなり
真理の道の遠ければ
あゝカルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
4. 東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



MVP(Mission・Vision・Passion)を大切に = 使命を果たし、夢をもち、情熱を傾ける =

八雲会会長 土江博昭

「内憂外患 吾州に迫る 正に是 存亡 危急
の秋 唯だ 邦君の為 家国の為 焦心碎骨
又何ぞ愁えん」

この漢詩は、幕末長州藩の志士、高杉晋作が若い藩士を激励するために書いた「焦心録」の後に書きとめたものです。

高杉晋作が危急存亡にある長州藩や幕末の日本を憂いたように、今、我が国は、外にあっては、ロシアによるウクライナ侵攻、台湾海峡をめぐる米中対立の激化など、内にあるのは、安倍元総理大臣の襲撃事件、いまだに終息の兆しさ見えぬコロナの感染拡大、エネルギーや食糧価格高騰等々、平和、政治、経済、安全安心な生活が脅かされています。

こうした中、引き続き会長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私が、今一番に憂いておりますことは、大東高等学校の生徒数の減少です。今年度の新入生は、77名で、3クラス、120名の定員に対して2クラスの定員にも満たない状況でした。

この状態が続けば、教育の充実、部活動の活性化が大きく脅かされる結果となります。正に母校に存亡の危機が迫っているといっても過言ではないと思います。

こうした状況下において、会員の皆様には、「八雲会」の存在意義や役割を改めて考え、目指す方向性を共有し、母校に対する熱い思いを寄せていただくことが重要だと考えています。

具体的には、役員の皆様、会員の皆様との協議の場で方向性を確認したいと思いますが、以下、私の思いの一端を述べさせていただきます。

生徒数の減少は、どの学校にとっても喫緊の課題であり、「高校の魅力化」が一層強く叫ば

れております。

母校においては、これまで各教科や地域課題を中心とした「探究学習」等、授業の充実、「部活動の活性化」など、魅力化に向けた様々な取り組みがなされてきました。

そして、今年4月からは「コミュニティ・スクール=学校運営協議会」が導入され、新たな魅力化への動きが始まりました。

「コミュニティ・スクール」は、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを推進していく仕組みであり、私は、母校の魅力化に向け大きな期待を寄せています。

去る7月1日に第1回大東高等学校学校運営協議会が開催され、私は八雲会の代表として委員に委嘱され、学校運営協議会の会長に選任されました。

学校運営協議会は、学校運営の基本的な方針を承認するとともに、学校を支援する具体的な活動についても協議する場です。

委員は、大東高等学校の部活動後援会長様、PTA会長様をはじめ地域で活躍されている若手代表の皆様など6名ですが、学校運営協議会が形式的な協議の場になってはなりません。

そのためには、具体的な実践組織である「地域学校協働本部=地域学校協働活動」を組織し、「学校運営協議会」と一体的な活動が必要です。

地域学校協働活動は、「学校運営協議会」の協議を踏まえ、八雲会をはじめとする各支援団体がベクトルを合わせ、母校の魅力化に向けて、それぞれの役割を果たす活動です。

今後、コミュニティ・スクールの充実と母校の魅力化に向け、「MVP」(Mission・Vision・Passion)がコミュニケーションワードとして、広がっていくことを願っています。



転換期を迎えた大東高校の「今」

校長 鳥居 俊孝

「激動の時代」といえばかつては昭和の時代、即ち第2次世界大戦を経て高度成長期を迎えた時代を表すものとしてよく使われるフレーズでした。しかしながら、昨今の世界的なコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、台湾での緊張の高まり、さらには地球温暖化の影響で「異常、気象がもはや「日常」となりつつあることなどを考えると、今の時代も紛れもない「激動の時代」であるということが出来るのではないのでしょうか。

そんな「今」を生きる現代の高校生たち。来春にはコロナ禍で入学した生徒たちが卒業を迎えます。私たち大人世代が経験したことがない時代を生きる彼らには、この変化の激しい時代に対応した「生きる力」を身につけることが必要とされています。高度成長期に必要とされた「指示通りに動ける生徒」ではなく、「主体性を持ち、自ら考え、判断し、行動することができる生徒」を育成することが学校教育において強く求められています。また、一方では生徒数減少という現実的な課題への対応も迫られています。

そのような背景のもと、大東高校では学校教育基本方針（グランドデザイン=次ページ参照）をわかりやすくビジュアル化し、「育成したい生徒像」を明確化して教育に取り組んでいます。生徒には「チャレンジの連鎖」によって「主体性」を身につけることを求めています。と同時に学校もまた生徒のチャレンジを支えていけるよう、教育の本質的に大切なことは守りつつ（不易）、しかし実現する方法は柔軟に変えていく（流行）姿勢が求められています。

以前から学校の魅力化に取り組んできた本校では、三刀屋高校、掛合分校との3校合同での

コンソーシアム設立、雲南式探究による地域課題解決学習などを進めて参りました。今年度は県内1年生全員への一人一台ノートパソコン導入を受けて学校独自に学習アプリを導入しました。また、学校運営協議会（いわゆるコミュニティ・スクール）が発足し、土江八雲会会長様に会長にご就任いただき、より外部の力を学校経営に生かしていく体制を整えることができました。

学校には自前主義でなんとか自分たち教職員ですべてをやりきろうとする風潮があります。しかし、グランドデザインに示したような「人とつながることができる人間力」や「自分と地域の未来をつむぐことができる社会力」の育成は学校内で完結できるものではありません。地域課題解決学習（探究学習）で行政職の方や地域で活動しておられる方の話を聞いたり、アドバイスをいただいたりすることで生徒たちの学びがより深まっていくことを私たちは感じています。そういった意味で、地域の方々を中心とした学校外の方々との連携は転換期にある大東高校の教育の充実や学校の魅力化を推進していく上で欠くことの出来ないものとなっています。

その中でも八雲会は学校にとって最も身近で頼れるパートナーであり、学校にとっての「人財バンク」ともいえる大切な存在です。今後も八雲会と学校との連携を深め、目的を共有し、大東高校の魅力化を推し進めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様には大きな転換期を迎えている大東高校をこれまで以上にご支援いただきますようお願い申し上げます。



可能性を開き、チャレンジを支える /
島根県立大東高等学校



グランドデザイン

育成したい生徒像



人と、
つながることができる

人間力



学んだことを、
つなげることができる

学力



自分と地域の未来を、
つむぐことができる

社会力

何をどのように学ぶか

主体性を育む7つの力の育成



雲南コミュニティハイスクール・コンソーシアム
 学校運営協議会 卒業生会 部活動後援会 PTA

地域の支え

チャレンジが連鎖する雲南市
あいさつが響き合うまち大東町

教職員の支援

“指導”から“伴走”へ
生徒とともに進化する教職員
“授業の質の向上”

求める生徒像

「知・徳・体 調和のとれた人」をめざし、チャレンジする生徒

卒業50周年記念メッセージ集を作成

第23期 細田 奈美江

私たち23期3年3組のクラス会は、『太陽の塔』の名称を持っています。この名称になった経過は、これまでの『八雲』や『創立100周年記念誌』にも掲載されています。（小山令子さん寄稿）3年の体育祭のデコレーションが「太陽の塔」でした。

2021年3月、私たちは卒業50周年を迎えました。10年ごとの節目に開催していた同窓会（30周年は本物の「太陽の塔」のもとに集結）はコロナ禍でとても無理です。本来は2019年10月の100周年事業に合わせて企画するも台風で中止。次は2020年の東京五輪後の秋に。これも成らず。2021年が明け、「どうしようか」「50周年の記念、何か残したい」検討の結果、「メッセージ集」を作ろうと決めました。

4月、毎年発行のクラス会報誌『太陽の塔』で呼びかけ、“50周年に寄せて”のメッセージを依頼しました。返信が楽しみです。「忘れてた！」という仲間にも声かけ、メール等で送ってもらいました。担任の田村先生からはいち早くお便りを頂き感謝です。

（最強の？）三女子で作業分担、編集会議3回？9月に表紙が完成し、3人寄って編集作業、発送にこぎつけました。（文字1つに悩んだり、結構大変でした）

「メッセージ集」は27ページ。卒業時の写真、10、20、30、40周年、県内会、先生の喜寿御祝の集合写真、近況メッセージ、あゆみ等、型にはまらず我流です。反省点もありますが達成感が勝ります。拙い冊子ですが一人でも喜んでくれたらと。

（作成にあたりアルバム、『八雲』から写真使用しました）

新入会員紹介

YAKUMOKAI

石飛 城士郎 (第74期)

私は4月に島根大学に入学し、現在教育学部において学校の先生になるための知識を蓄えています。島根大学の教育学部では、1回生の6月ごろに最初の教育実習を附属学園で迎えます。教職を学ぶ場所としては充実していると思っています。また、1000時間体験学修というもので、大学に在学している間にボランティアやイベントスタッフなどさまざまなことを経験することができます。

大学では、授業を受ける他に課外活動に参加することができ、私は軟式野球部を選びました。高校時代にやらなかった野球を大学で再び始めるのは少し勇気が必要でしたが、入部すると先輩たちは優しく、面白い人たちが多く、野球部に入部してよかったと感じています。

私が島根大学に入学してからは、授業はほとんど対面授業になり、コロナ禍以前の状態に近づいていますが、完全に自由な大学生活を送ることはできていません。コロナ禍はいつまで続くかわかりませんが、もっと自由な大学生活が送れることを信じています。

土屋 香都 (第74期)

私は警察官高卒程度採用試験に合格し、本年4月から初任科生として警察学校に入校し、日々努力をしています。私が警察官採用試験に合格することが出来たのは、大東高校の先生方のおかげです。大東高校では、地域に密着した授業があったり、生徒が自らプロジェクトを立ち上げ活動をしたりすることができます。自分自身が挑戦できる場を与えてくださった大東高校の先生方にとっても感謝しています。警察学校でも大東高校で培った経験を活かして、立派な警察官になります。そして、県民の安全と安心を守ることを約束します。

八雲会

令和3年度事業報告

令和4年度事業計画

令和3年度 事業報告

令和3年

4月28日(水) 第1回校内幹事会(役割分担等)
 5月18日(火) 監査会 (R2年度決算)
 5月下旬 役員の皆様へ資料送付
 (決算、予算、事業、総会)

7月 3日(土) 八雲会総会 (中止)

10月 会報「八雲」第58号発刊

11月15日(月) 佐世支部会

11月16日(月) 海潮支部会

11月26日(金) 大東支部会

11月28日(日) 春殖支部会

11月29日(月) 幡屋支部会

12月 5日(日) 久野支部会

令和4年

1月 7日(金) 加茂支部会

2月28日(月) 第74期八雲会入会式

令和4年度 事業計画

令和4年

4月20日(水) 第1回校内幹事会(役割分担等)

4月26日(火) 監査会 (R3年度決算)

5月24日(火) 役員会

7月 2日(土) 八雲会総会

10月 会報「八雲」第59号発刊

月 日() 関東支部会

月 日() 関西支部会

月 日() 広島支部会

月 日() 大東支部会

月 日() 春殖支部会

月 日() 幡屋支部会

月 日() 佐世支部会

月 日() 阿用支部会

月 日() 海潮支部会

月 日() 久野支部会

月 日() 塩田支部会

月 日() 加茂支部会

月 日() 宍道支部会

月 日() 木次支部会

(コロナウィルスの感染状況により、
日程変更や中止の場合があります)

令和5年

2月 日() 第2回校内幹事会(入会式)

2月28日(火) 第75期八雲会入会式



令和3年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	819,000	796,500	▲ 22,500	年額3,000円
繰越金	897,614	897,614	0	前年度繰越金
寄付金	500,000	536,000	36,000	寄付金
雑収入	6	9	3	預金利息
合計	2,216,620	2,230,123	13,503	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	535,000	84,554	▲ 450,446	
会議費	230,000	2,098	▲ 227,902	役員会
旅費	200,000	0	▲ 200,000	
通信費	30,000	21,133	▲ 8,867	郵券代
事務費	25,000	31,238	6,238	事務用品代等、寄付金振込みの際の振込手数料
管理費	50,000	30,085	▲ 19,915	会員登録、データ管理等
事業費	1,120,000	803,866	▲ 316,134	
八雲発行費	650,000	589,946	▲ 60,054	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	180,000	▲ 240,000	加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、海潮、久野の各支部
入会式	50,000	33,920	▲ 16,080	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	10,000	8,000	▲ 2,000	慶弔費
予備費	551,620	0	▲ 551,620	
合計	2,216,620	896,420	▲ 1,320,200	

特別会計(積立)決算書

令和2年度末残額	5,445,478円
令和3年度利息	46円
令和3年度末残額	5,445,524円

(収入総額) 2,230,123円

(支出総額) 896,420円

(差引残額) 1,333,703円・・・令和4年度へ繰越

令和4年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	729,000	819,000	▲ 90,000	年額3,000円×243名
繰越金	1,333,703	897,614	436,089	前年度繰越金
寄付金	500,000	500,000	0	寄付金
雑収入	17	6	11	預金利息
合計	2,562,720	2,216,620	346,100	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	560,000	535,000	25,000	
会議費	230,000	230,000	0	役員会、総会費
旅費	200,000	200,000	0	支部会出席等旅費
通信費	30,000	30,000	0	郵券等
事務費	50,000	25,000	25,000	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	50,000	50,000	0	会員登録、データ管理等
事業費	1,120,000	1,120,000	0	
八雲発行費	650,000	650,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	420,000	0	関東、関西、広島、松江、加茂、木次、宍道、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	50,000	50,000	0	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	30,000	10,000	20,000	
予備費	852,720	551,620	301,100	
合計	2,562,720	2,216,620	346,100	

特別会計(積立)予算書

令和3年度末残額	5,445,524円
令和4年度利息	76円
令和4年度末残額	5,445,600円

「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

1. 寄付状況

◇総額：558,000円 ◇振込人数 128人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 2 福島 1 新潟 1 埼玉 4 東京 7 千葉 1 神奈川 1 愛知 2
大阪 14 京都 4 奈良 2 兵庫 5 岡山 1 広島 13 山口 2 鳥取 2 島根 64

◇口別寄付状況（人） 1口1,000円

1口/33 2口/13 3口/38 4口/1 5口/21 6口/1 10口/17 20口/2 30口/2

2. 寄付者芳名録

(期順、敬称略) ※令和3年9月1日～令和4年8月31日

振込回数により、氏名の重複があります。

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
高女4	高橋 房子	島根	高定13	三島 修	京都	高22	原 幸生	大阪
高女併中1	石田 守子	島根	高14	小林 孝芳	島根	高22	吉岡 祥治	島根
高3	経種 信明	北海道	高14	高橋 良次	島根	高22	小林 晶子	大阪
高3	勝部 美保子	島根	高14	鏑木 捷彦	新潟	高22	中村 淳	大阪
高3	矢野 操子	大阪	高14	小山 義弘	島根	高22	武田 文夫	東京
高3	今岡 貴久枝	島根	高14	安原 知加子	島根	高22	斉藤 鈴子	愛知
高3	江草 まゆみ	京都	高14	安原 知加子	島根	高22	斉藤 由美子	埼玉
高5	藤本 浩子	大阪	高14	錦織 涿郎	島根	高22	藤本 恵美子	広島
高5	入江 早苗	島根	高15	高島 節郎	東京	高23	門脇 文雄	北海道
高5	狩野 彰彦	広島	高15	山中 茂樹	埼玉	高23	簾 洋一	広島
高5	藤原 義正	兵庫	高15	景山 源榮	島根	高23	石川 辰子	島根
高6	野竹 裕子	島根	高16	長谷川 亨	島根	高24	福岡 功	広島
高6	勝部 光代	島根	高16	加藤 敏	島根	高24	佐藤 勝	島根
高定6	高橋 弘英	広島	高16	山代 のり子	愛知	高24	長妻 幸宏	島根
高7	平野 栄子	広島	高16	上代 雅躬	島根	高24	池田 智恵子	鳥取
高7	森 修司	大阪	高17	佐藤 真	広島	高24	安部 幸治	島根
高7	野々村 学	東京	高17	加納 昭	兵庫	高25	鶴原 憲治	島根
高7	常松 定代	島根	高17	佐々木ハツヨ	神奈川	高25	園山 真知子	島根
高8	藤原 和夫	島根	高17	奥原 稔	島根	高26	原 泰夫	千葉
高8	加納 武夫	福島	高17	長廻 茂子	島根	高26	田中 明子	島根
高8	瀧 清	島根	高17	三島 利政	島根	高26	安達 和人	島根
高8	松浦 瀬正	兵庫	高17	岡田 幹雄	島根	高27	曳原 純子	奈良
高9	岩田 啓靖	山口	高17	岡田 一夫	島根	高27	稲田 康志	京都
高家9	石原 道子	東京	高17	錦織 綾子	島根	高27	田中 喜美代	島根
高10	森 龍治	広島	高17	荒木 千代美	大阪	高28	下條 延子	兵庫
高10	白名 弘子	島根	高17	荒木 千代美	大阪	高29	唐桶 明	島根
高10	岡田 邦雄	広島	高18	土江 博昭	島根	高30	原田 等	島根
高10	高橋 潮	奈良	高18	別所 俊子	島根	高30	狩野 雄作	兵庫
高10	青木 春彦	広島	高18	福本 繁	埼玉	高32	佐藤 博芳	東京
高10	田中 彦力	大阪	高18	常松 繁	埼玉	高32	西村 隆正	島根
高11	井上 映子	島根	高18	藤田 マスミ	大阪	高32	森山 智	島根
高11	門脇 順	広島	高18	青木 愛治	島根	高33	金森 正	大阪
高11	杉原 シン	島根	高18	青木 愛治	島根	高33	石川 千登勢	東京
高11	安原 重隆	島根	高19	吾郷 光範	広島	高35	中島 俊光	京都
高11	安原 重隆	島根	高19	今岡 義治	東京	高39	門脇 康文	島根
高12	野津 克彦	島根	高19	蘆田 信夫	島根	高39	長谷川 久美	島根
高12	錦織 宏介	島根	高19	郷原 保男	島根	高39	高谷 敬子	島根
高12	土谷 和盛	島根	高19	八木 幾子	大阪	高40	高谷 敬子	島根
高定12	佐藤 和紀	広島	高20	須田 岩夫	島根	高44	安原 みずほ	島根
高13	田形 満雄	島根	高20	横山 美昭	島根	高44	安原 みずほ	島根
高13	武田 民子	鳥取	高21	奥津 正江	岡山	高72	錦織 明日美	島根
高13	太田 多美子	島根	高21	鍛冶 咲子	大阪	高72	鮎川 純子	山口
							八雲会佐世支部	島根

本人死去によりご家族様からの寄付（2名）

振込方法

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。一口1,000円から受け付けてさせていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行 ※通帳またはキャッシュカードを利用し、口座から振込む場合は手数料はかかりません。 ※現金で払い込む場合は110円加算されます。

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

◆その他 ・卒業生のお名前でお振り込みください。（ご家族の方等が振り込まれる場合も）
・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
・振込期限はありません。（随時受付をしています）

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。
振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イサノク)店(139)
預金種目：当座
口座番号：0103127

令和4年度～令和5年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	副会長	足立 昭二	高26
	安原 重隆	高11		鳥居 俊孝	校長
会長	土江 博昭	高18	監事	狩野 健吉	高18
副会長	太田多美子	高13		石川 辰子	高23
	岸本 邦夫	高19		狩野 恵子	高24

【理事】

地区	氏名	期	地区	氏名	期	
大東	青木 愛治	高18	塩田	新田 国善	高27	
	光谷由紀子	高18		加茂	岸本 邦夫	高19
	安部 幸治	高24			永瀬 敬治	高23
春殖	横山 美昭	高20	高橋 雄二		高32	
	小川 茂之	高29	畑 宏明	高29		
幡屋	森山 武史	高25	木次	吉岡 敏隆	高27	
	赤名 秋夫	高26		佐藤 隆司	高31	
佐世	錦織 一夫	高17	松江	細木 弘志	高32	
	高橋 敬二	高22		宍道 渡部 清美	高27	
阿用	永瀬 康典	高18	松江	休		
	陶山 隆之	高17		会		
	矢壁 正弘	高28	広島	佐藤 眞	高17	
	安部万里子	高28		富久 禮識	高6	
久野	上代 英治	高29	関西	佐藤 和紀	高12	
	長妻 賢二	高32		広木 益夫	高16	
	三澤 郁穂	高35		鏑木 茂雄	高32	
海潮	福間 廣明	高20	関東	持田 啓司	高32	
	佐々木 徹	高23				
	宮川 稔	高27				

【大東高等学校事務局】

事務局長	渡部 勝 (教頭)	事務局長	門脇 康文 (高39)	幹事	安立 朋久 (事務長)
幹事	小山 剛 (高35)	幹事	松村 茂樹 (高43)	幹事	藤原 智美 (高48)
幹事	上野城将志 (高51)	幹事	加藤 宏明 (高57)	幹事	小山美紀子

よろしくをお願いします。

編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

【代議員】

令和4年9月6日 現在

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	小山 益男	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	福間久仁子	高22			
	早川 光幸	高24	広島	渡部 剛	高16
春殖	糸原 優二	高33		三島 暁子	高17
	田中 久志	高33	関西	小山 勉	高23
幡屋	郷原 辰雄	高22	関東	佐藤 博芳	高32
	舟木 忠夫	高24	【八雲会支部長】 大東支部 青木 愛治 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 一夫 阿用支部 永瀬 康典 久野支部 上代 英治 海潮支部 福間 廣明 塩田支部 新田 国善 加茂支部 岸本 邦夫 木次支部 佐藤 隆司 宍道支部 渡部 清美 松江支部 広島支部 佐藤 眞 関西支部 広木 益夫 関東支部 鏑木 茂雄		
	武田 良伸	高32			
田中 互	高37				
佐世	安部 博	高18			
	鶴原 憲治	高25			
阿用	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
	安井 修	高25			
久野	福間 美博	高34			
海潮	岩田 和義	高19			
	山根 和幸	高25			
	佐藤 正範	高32			
	藤原 英二	高37			
塩田	安達 隆重	高42			
加茂	竹村 治美	高17			
木次	上野城保明	高49			
宍道	佐藤 和彦	高32			



大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校
 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
 TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512
 E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp
 ホームページ <https://www.daito-h.ed.jp/>

☆大東高校公式 [facebook](#) もご覧ください